



事業実績報告書

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	B-11	講座名	中津川の自然、まるごとお楽しみ(第8回)
記載日	2018/9/10	団体名・企業名	認定特定非営利活動法人恵那山みどりの会
<p><講座全体の概要>(300字程度)</p> <p>自然体験学校を通し、中津川の自然保護の大切さと自然の面白さを体感し、上流域中津川と下流域名古屋都市部の自然のつながりの大切さを理解することを目的とした。</p> <p>①竹林整備とタケノコ掘り、タケノコ料理を楽しみました。 ②アメリカザリガニ釣りをし、外来生物による影響などを学習した。 ③河川の現流域根ノ上高原にて、森の現状を観察し、植物や昆虫などを観察し・体験をした。ナイトハイキングで、「飛べない蛍」を採取・観察した。リョウブの木を使って、「バードコール」を作成した。また、火起こし体験、ボート漕ぎ体験とハイキングをしながら、食べれる木の実、かおりのする木の実や小枝を体験した。</p>			
<p><写真添付スペース(1~2点)></p>			
			
<p>※写真1の説明</p> <p>竹林整備のお楽しみ。昨年の竹チップの中の「カブトムシの幼虫」を探し、幼虫を育てます。</p>		<p>※写真2の説明</p> <p>ボート漕ぎ初体験。うまく漕げるようになりました。</p>	
<p><企画・運営者の声(感想)>(350字程度)</p> <p>①事前に「イノシシ対策柵」を設置しタケノコの保護。 ②水田の跡地でのアメリカザリガニ釣りは入れ食い状態で釣る楽しさを体験できた。また、外来種を拡散させないように学習した。 ③根ノ上高原を「ナイトハイキング」に出かけた。真っ暗な道を目以外の感覚を頼りにして、風の音や草の匂いを感じた。途中で「飛べない蛍」を捕まえて観察した。飛ぶ蛍を鑑賞するのは日本と(あと1ヶ国)で、ほとんどの国では蛍を鑑賞する風習がないことに驚きであった。 ④ボート漕ぎの体験をした。少し練習をしたら、みんな漕げるようになり、時間が伸びた。 5%バードコールを作り、記念品として持ち帰った。</p>			
<p><受講者の声(実感した反応及びアンケートより)>(3~5点、計350字程度)</p> <p>①竹をいっぱい切りました。たけのこご飯おいしかった。 ②ザリガニ釣りははさみで挟んだ餌を離さないよう「そっと」釣りあげるタイミングが難しかった。 ③飛べない蛍を初めて見た。お尻が光るのを見た。 ④ボート漕ぎのが難しかった。楽しかった。漕いでいたかった。 ⑤鳥の鳴き声にそっくり。鳥を読んでみたい。(バードコールでの音出し) ⑥火打石での火起こしは難しかった。(16人で3人成功した) ⑦川下りができなかった。だけどプールで泳ぐことができ楽しかった。 (雨で川下りは中止し、温泉プールで遊びました)</p>			